

## 地域の人の 笑顔が見たい

### 駅伝王国 「日置谷」の復活

今から16年前の平成2年10月、当時、過去の名声となりつつあった駅伝王国日置谷の復活をめざし、「日置谷オーバーペース」という駅伝チームができました。日置谷地区は、監督の滝さんが学生だった30〜40年程前までは旧気高郡内では無敵で、県内でも有名な選手を輩出していました。しかし、チーム結成直前は、大会に出場するのがやっとという状況。これを何とか打開しようと、当時日置谷公



左 津本 和美さん  
Kazumi Tsumoto

右 滝 恒夫さん  
Tsuneo Taki

民館の役員をされていた津本さんが、「もう一度駅伝の強い日置谷が復活できないか」との声を聞き、毎回の選手集めにも苦労する中、いつそのこと駅伝チームを作ってしまったおとうと、知り合いに声を掛け、約20人でスタートしました。実は滝監督、学生時代スポーツとは無縁で、日置谷出身ということだけで、高校を卒業すると同時に先輩に声を掛けられ駅伝を始められたそうです。走ることは思った以上に楽しく、気持ちのいいものだと言われます。結成8年目にして目標だった青

## 駅伝チーム 「日置谷 オーバーペース」

谷町一周駅伝で見事優勝することができました。駅伝王国「日置谷」の復活です。

### オーバーペース ????

オーバーペースという名前、普通あまり良い意味では使わない言葉ですが、あえてこの名前を選んだのは、「マインペースでは大会で勝てない。オーバーペースになるくらい死に物狂いで頑張っている」というメンバーの熱い思いからつけたものです。実際、ゴール直前に脱水症状で倒れてしまった選手もおられ

たそうです。まさにオーバーペース：幸い大事には至らず、今ではいい思い出となっています。

チーム結成時に記念に作った、少々派手なオレンジのユニホームと、駅伝チームとしてはちよつとな名前のおかげで沿道のみなさんにすぐに覚えてもらえたようで、これには、恥ずかしがり屋の滝監督も「みんなに注目され、『オーバーペースだつて、変わった名前だなあ。まあ、頑張れ、頑張れ』とたくさんの声援をいただくことができ、このユニホーム、そしてこの名前に